

# 東シナ海ブロック水産業情報

No. 125(2024年4月~6月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○水産海洋技術センター ・タイラギの種苗生産を実施。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの放流、ガザミの中間育成、放流を実施。</p>	<p>○有明 ・マガキ養殖 4月中旬以降、本養殖が開始されている。今年度、九州北部の梅雨期間は6月17日頃から始まり、6月下旬から降水量が増え、海域が低塩分化し始めたものの、7月上旬の時点では、養殖中のカキは大量斃死を起こすことなく、順調に成長している。</p> <p>○玄海 ・アカウニ殻径20mm 50万個放流済み ・マナマコ種苗生産中、7月から配布開始</p>		<p>マダイ:滑走細菌症 クルマエビ:ピブリオ病 マアジ:ピブリオ病 アユ:冷水病 ヤマメ:冷水病、ガス病 ニホンウナギ:ウイルス性血管内皮壊死症、高温障害</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・鹿児島湾奥において、5月上旬に <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が発生したが、5月下旬には終息した。(漁業被害なし) ・八代海において、5月下旬から <i>Chattonella antiqua</i>、6月中旬から <i>Cochlodinium polykrikoides</i> による赤潮が発生し、魚類養殖業に被害が発生した。</p>	<p>・業務効率化及び働き方改革の一環で、魚病巡回指導及び赤潮モニタリングの共同実施を試行中。赤潮モニタリングは養殖業者の視点に立って必要最小限の項目に集約化することで作業性に問題がないことを確認。</p>		